

衆院憲法審 初の幹事懇

今国会と野党、日程など協議

衆院憲法審査会は14日、今国会で初となる幹事懇談会を開いた。与党が21日の審査会開催を提案したのに対し、野党側は回答を留保し、引き続き協議することになった。懇談会では、自民党の新藤義孝と党筆頭幹

事が、今後取り上げるべき論点として①継続審議となっている国民投票法改正案②国民投票運動中のCM規制③新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた国会の機能維持——などを示し、審査会の開催を求めた。

これに対し野党は、立憲民主党の山花郁夫野党筆頭幹事が「CM（規制）について幅広の議論をしてほしいという主張は従来通りだ」と応じたが、国会の機能維持などには「不急の議論だ」（国民民主党の奥野総一郎幹事）と反発した。野党はこれまで「コロナ対応が優先だ」として、審査会の前提となる幹事懇談会を拒んできた。今回応じ

た理由について、立民幹部は「（経済対策を盛り込んだ）補正予算が成立したこともあり、このタイミングになった。審査会開催の是非は改めて検討する」としている。

